

東北地区

高校生のための 心理学講座シリーズ

心理学と社会 — ところどころの不思議を解き明かす —

平成27年 8月6日(木)

会場：東北大学 片平キャンパス 片平さくらホール2階会議室

| | | |
|-------------|---------|-------------------|
| 10:30-11:20 | 実験心理学 | 阿部 恒之 (東北大学) |
| 11:35-12:25 | 臨床心理学 | 佐藤 静 (宮城教育大学) |
| 13:30-14:20 | 音楽認知心理学 | 佐々木 隆之 (宮城学院女子大学) |
| 14:35-15:25 | 発達心理学 | 小泉 嘉子 (尚絅学院大学) |
| 15:40-16:30 | 教育心理学 | 邑本 俊亮 (東北大学) |

企画・司会：邑本 俊亮 (東北大学)

参加費無料
事前申込制
定員150名(先着順)

◆ 各講義の詳細は裏面をご覧ください



開催概要

公益社団法人 日本心理学会 主催

高校生のための心理学講座 心理学と社会 一こころの不思議を解き明かすー(東北地区)

日 時: 2015年8月6日(木) 10:30~16:30

場 所: 東北大学 片平キャンパス 片平さくらホール2階会議室

JR仙台駅西口より徒歩15分 <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/index.html>

参加費: 無料 ※筆記用具を持参ください。上靴は必要ありません。

※昼食については、大学生協の食堂を利用できます。

※高校生、教職員の方向けの講座ですが、保護者の方、一般の方の参加も歓迎いたします。ご一緒にお申し込みください。



講座の内容

実験心理学 阿部 恒之(東北大学)

目に見えない心を知るために、心理学では様々な工夫がなされてきました。たとえば、「怖い」という感情は、ホルモンで測ることができます。「こんな場面でゴミのポイ捨てをしますか」と直接尋ねると、みんな「捨てない」と答えますが、一対比較法という方法を使ったら、ポイ捨てされやすい環境を見つけることができました。測りにくいものを測った実験や調査を紹介し、実験心理学の面白さをお伝えしたいと思います。

臨床心理学 佐藤 静(宮城教育大学)

日々の生活の中でいろいろな悩みをかかえて困ったり、辛い思いをしたりすることがあります。また、東日本大震災のような災害時にも心の危機が訪れることがあります。そういう心の問題への対応や心のケアに取り組んでいるのが臨床心理学です。この授業ではカウンセリングなどの心の支援についてお話しします。

音楽認知心理学 佐々木 隆之(宮城学院女子大学)

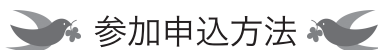
音楽作品には、知覚処理の仕組みをうまく利用したものがあります。楽器の音や歌声がどのようにつながってメロディになっているのか、楽譜をちょっと見ただけではわからないものもあります。また、楽器の制約を補うための面白い工夫が取り入れられている作品もあります。様々な音楽の技法を実際に聴きながら、その背後にある人間の聴覚系の働きを紹介します。

発達心理学 小泉 嘉子(尚絅学院大学)

「発達する」とはどのようなことでしょうか?赤ちゃんは親とどう関わりながら発達するのでしょうか?また赤ちゃんは親をどのように見ているのでしょうか?この授業では、わたしたちが家族といった人々と関わりながら、どのように心身ともに発達(変化)していくのかについてお話ししていきます。

教育心理学 邑本 俊亮(東北大学)

みなさんは授業を受けたり教科書を読んだりして、一生懸命に勉強していると思います。しかし、学習内容がよく理解できる場合とそうでない場合があるのではないのでしょうか。私たちが何かを理解するとはどのようなことなのでしょうか。そこにどんな心の働きがあるのでしょうか。この授業では、学習者の理解に影響する要因について具体的例を挙げながら解説し、理解している時の心の働きについてお話しします。また、伝えたい教師と理解したい生徒の関係において大切なことを考えます。



参加申込方法

▶ FAXでのお申込み 以下のFAX申込フォームにてお申し込みください (FAX番号 03-3814-3954)。

▶ メールまたは往復はがきでのお申込み

「東北地区参加希望」と明記の上、住所、氏名、年齢、所属(高校名・学年等)、電話番号をお知らせください。

※ 複数名でのお申込みの場合も、皆さま分の情報をお知らせください。

〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル 公益社団法人 日本心理学会

メールアドレス: jpa-highschool@psych.or.jp

※ お申込みいただいた順に受付番号をEメール、Fax、はがきにてお知らせしますので、

住所、Fax番号、メールアドレスを必ずご記入ください。

※ 往復はがきでお申込みの方は、返信用はがきに住所をご記入ください。

FAX 申込フォーム【東北地区】

| | | | | |
|---------|-------|-----|------------|--|
| フリガナ | | 学校名 | _____ 高等学校 | |
| 参加者氏名 | (男・女) | 学 年 | () 学 年 | |
| 住 所 | 〒 | | | |
| メールアドレス | | | 年 齢 | |
| Fax番号 | | | | |
| 電話番号 | | | | |

※ お知らせいただいた個人情報は、本事業の受付目的にのみ使用します。